

# 日本病院薬剤師会 東北ブロック第 10 回学術大会

合同開催：第 75 回医薬品相互作用研究会シンポジウム

## 大会概要

参加人数：1000 名を予定

参加費：一般 事前：7000 円

当日：8000 円

学生 無料（但し要旨集は実費販売）

## 予定

シンポジウム 27

特別講演 3

教育講演 2

実技付ワークショップ 7

褥瘡、簡易懸濁、糖尿病デバイス、がん（模擬患者に対する服薬指導）

がん（遺伝子による薬剤選択）、輸液デバイス、薬剤システム

褥瘡、簡易懸濁、糖尿病デバイスは、これまで毎年開催してきた実技付の研修ですが、本年度はここで実施したいと考えております。また、がんの模擬患者に対する服薬指導や遺伝子による薬剤選択、さらに輸液デバイス（在宅等での輸液製剤の取り扱い）などの新たな WS は実際に経験することから生まれる知識取得などに有用であると考えております。

特に保険薬局薬剤師むけの取組みとして

- ・シンポジウムに「地域連携 1」、「地域連携 2」、「薬機法改正」などの保険薬局業務に関連した内容を企画した
- ・糖尿病、腎臓薬物療法、認知症、などの疾病に関わるシンポジウムを企画した
- ・ポスター発表で若い薬剤師の発表を広く募るため「若手優秀ポスター賞仮称」を設けた

今回は、薬学生や教員向けのシンポジウムや就職ブースも設けており、ご参加いただくことで有意義な時間をすごせるものと考えております。

以上

大会事務局 東北大学病院薬剤部内 〒980-8574 仙台市青葉区星陵町 1-1 TEL: 022-717-7528

運営事務局 日本コンベンションサービス株式会社東北支社

〒980-0824 仙台市青葉区支倉町 4-34 丸金ビル 6

TEL: 022-722-1311 E-mail: jshp2020-thk@convention.co.jp

ホームページアドレス：<https://site2.convention.co.jp/jshp2020-thk/>

## プログラム (予定)

### 特別講演 1

がんゲノム医療の進展と課題

演者：石岡 千加史 (東北大学加齢医学研究所 臨床腫瘍学分野)

### 特別講演 2

病院薬剤師の勤務実態から考える働き方改革への対応

演者：外山 聡 (新潟大学医歯学総合病院 薬剤部)

### 特別講演 3

2020 年度診療報酬改定が示す病院薬剤師の方向性

演者：川上 純一 (浜松医科大学医学部附属病院 薬剤部)

### 日本病院薬剤師会会長講演

病院薬剤師の方向性を展望する

演者：木平 健治 (一般社団法人日本病院薬剤師会 会長)

### 教育講演 1

知って知らない「てんかん」

演者：中里 信和 (東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野)

### 教育講演 2

ファーマコゲノミクス (PGx) 解析による個別化薬物療法

演者：平塚 真弘 (東北大学大学院薬学研究科)

## シンポジウム1

「がん」患者の「腎」を守るための薬学的マネジメント

～オンコネフロロジーという新しい学問領域における薬剤師の役割～

座長：岡田 浩司（東北医科薬科大学薬学部 病院薬剤学教室）

木皿 重樹（奥羽大学薬学部 医療薬学分野）

1. Onconephrology に対して薬剤師が出来ること(仮)  
菅原 浩介（JCHO 仙台病院 薬剤部）
2. 当院における腎機能評価と、腎排泄型抗がん剤の処方監査について  
北條 文啓（一般社団法人 仙脳神経疾患研究所附属 総合南東北病院 薬剤科）
3. 腎細胞がん分子標的薬治療及び腎移植後悪性腫瘍を対象とした臨床研究  
－変化する一般病院での認知症患者対応－  
藤山 信弘（秋田大学医学部附属病院 腎疾患先端医療センター）
4. オンコネフロロジーの使命と課題：薬剤師と腎臓医の役割を考える  
和田 健彦（東海大学医学部 内科学系腎内分泌代謝内科）

## シンポジウム2

認知症との共生～薬剤師の役割を考える～

座長：谷藤 弘淳（医療法人有恒会 こだまホスピタル 薬剤部）

高橋 将喜（一般社団法人仙台市薬剤師会 副会長）

1. アルツハイマー病治療研究の最近の進歩  
荒井 啓行（東北大学加齢医学研究所 老年医学分野）
2. 仙台市薬剤師会の認知症への取り組み・対応事例について  
矢尾板 和弘（一般社団法人仙台市薬剤師会）
3. 認知症ケアチームの取り組みと薬剤師の役割  
－変化する一般病院での認知症患者対応－  
本田 弘（一般財団法人厚生会 仙台厚生病院 薬剤部）

#### 4. 認知症のBPSD

柳 智之 (医療法人社団玄洋会 道央佐藤病院 薬剤部)

#### シンポジウム 3

医薬品適正使用に薬剤疫学的手法を導入する!?

座長：大場 延浩 (日本大学 薬学部)

小原 拓 (東北大学病院 薬剤部)

1. MDV analyzer を用いた妊婦における高血圧薬使用に関する実態調査  
塩澤 薫 (東北医科薬科大学病院 薬剤部)
2. 医薬品適正使用における JADER を用いた薬剤疫学研究の利活用  
酒井 隆全 (名城大学薬学部 医薬品情報学研究室)
3. 適正使用推進に向けた製薬企業による薬剤疫学的研究  
宮崎 真 (MSD 株式会社 グローバル研究開発本部 ファーマコビジランス)
4. 薬剤疫学研究で使用したデータの特徴：実例を踏まえて  
大場 延浩 (日本大学 薬学部)

#### シンポジウム 4

災害発生時の行政・薬剤師会・病院薬剤師会の連携を考える

座長：高山 和郎 (東京大学医学部附属病院 薬剤部)

片山 潤 (石巻市立病院 薬剤科)

1. 宮城県病院薬剤師会における災害時の支援と連携について  
片山 潤 (石巻市立病院 薬剤科)
2. 未定  
山田 卓郎 (一般社団法人宮城県薬剤師会 会長)
3. 大規模災害時における宮城県の医薬品供給等体制について (仮)  
安藤 京子 (宮城県保健福祉部 薬務課)

#### 4. 未定

高山 和郎（東京大学医学部附属病院 薬剤部）

#### シンポジウム 5

日本病院薬剤師会 薬剤業務委員会共催シンポジウム

患者の暮らしにつなぐ薬剤師による入退院支援業務の展開

座長：室井 延之（神戸市立医療センター中央市民病院）

平泉 達哉（由利組合総合病院 薬剤科）

1. 高度急性期病院から地域につなぐ薬物療法と薬剤師の役割  
室井 延之（神戸市立医療センター中央市民病院）
2. 入院時支援における薬剤師早期介入の重要性  
鈴木さとみ（大崎市民病院 薬剤部）
3. 退院支援から在宅業務への架け橋  
米田 勝晃（社会医療法人 高清会 高井病院 薬剤部）

#### シンポジウム 6

ポリファーマシー削減に取り組むために

座長：佐藤真由美（東北大学病院 薬剤部）

田坂 英久（カメイ調剤薬局）

1. 高齢者のポリファーマシーとその問題点  
小島 太郎（東京大学医学部附属病院 老年病科）
2. ポリファーマシーに対する薬剤師介入の取り組み（仮）  
大村 友博（神戸大学医学部附属病院 薬剤部）
3. 老健施設医師回診に同行して見えたポリファーマシー改善のヒント  
～ポリファーマシー改善は、薬学的管理・薬剤適正使用の集大成～  
新井 克明（医療法人渡辺会 大洗海岸病院 薬剤部）

4. 薬剤適正使用 調剤薬局奮闘記 (仮)  
坪内理恵子 (薬樹株式会社 在宅グループ)

## シンポジウム 7

### 市販後医薬品の安全性評価への更なる参画

座長：門田 佳子 (東京歯科大学市川総合病院 臨床薬学科・薬剤部)  
小原 拓 (東北大学病院 薬剤部)

1. 副作用自発報告件数の増加から質の向上へ  
小原 拓 (東北大学病院 薬剤部)
2. あなたの報告が薬を育てる～製薬企業が求める情報とは～  
杉村 好彦 (中外製薬株式会社 医薬安全性本部)
3. 医薬品の市販後安全対策に関して薬剤師に期待すること  
清水 崇 (厚生労働省 医薬・生活衛生局 医薬安全対策課)
4. 本邦における副作用報告データベースの質評価とその活用  
土屋 雅美 (宮城県立がんセンター 薬剤部)

## シンポジウム 8

### 改訂モデル・コアカリキュラム対応実務実習の第一歩 －次世代を担う薬剤師と共に育ち、何かが変わる？－

座長：小笠原恵子 (青森大学 薬学部)

1. 未定  
我妻 恭行 (東北医科薬科大学 薬学部)
2. 病院における薬学実務実習について  
改訂モデル・コアカリキュラムに対応した実務実習を目指して  
－弘前大学医学部附属病院の取り組み－  
工藤 正純 (弘前大学医学部附属病院 薬剤部)

## シンポジウム 9

### 変化する医薬品情報の評価と活用

座長：菊池 大輔（東北医科薬科大学病院 薬剤部）

佐藤 祐司（東北大学病院 薬剤部）

1. 患者さんにとって安全・安心・最高の薬物治療のための DI 業務〈総論〉  
橋本 貴尚（公益財団法人仙台市医療センター仙台オープン病院 薬剤部）
2. 審査報告書活用のススメ  
於本 崇志（岩手医科大学附属病院 薬剤部）
3. 添付文書の記載要領変更と臨床活用  
佐藤 祐司（東北大学病院 薬剤部）
4. 10分でわかる！RMP 利活用のポイント  
岡本 麻依（独立行政法人 医薬品医療機器総合機構）
5. 医薬品の適正使用を目指して、医薬品情報を活用しよう！  
～フォーミュラリ構築を例に～  
金井 紀仁（医療法人社団青葉会 新座病院 薬剤科）

## シンポジウム 10

### みんなで取り組む抗菌薬適正使用

座長：久道 周彦（東北大学病院 薬剤部）

鈴木 博也（東北大学病院 薬剤部・感染管理室）

1. 感染症診療の基礎（仮）  
徳田 浩一（東北大学病院 感染管理室）
2. みんなで取り組む antimicrobial stewardship program 市中病院から大学病院へ  
早川 幸子（東北医科薬科大学病院 感染制御部）
3. 薬剤師が病棟で実践する抗菌薬適正使用支援活動  
鈴木 義紀（宮城県立がんセンター 薬剤部）

4. 共に考える抗菌薬適正使用～病院薬剤師と保険薬局薬剤師の垣根を越えて～（仮）  
佐藤 智也（山形大学医学部附属病院 薬剤部）

## シンポジウム 11

薬機法改正・診療報酬改定で期待されるこれからの薬剤師・薬局の在り方  
～医療機関との一歩進んだ連携に向けて行うべきこと

座長：遠藤 武弘（一般財団法人光ヶ丘愛世会 光ヶ丘スペルマン病院）  
未定

1. 病院薬剤師と薬局薬剤師の連携に期待すること  
～令和2年度診療報酬改定及び薬機法等の改正を踏まえて～  
田宮 憲一（厚生労働省 保険局医療課）
2. 薬剤師を取り巻く状況と薬機法改正 ～本質的な薬剤師職能を見据えて～（仮）  
渡邊 大記（公益社団法人日本薬剤師会）
3. 地域でのPBPM導入におけるテレフォンフォローアップと  
トレーシングレポートの運用  
村田 勇人（クオール株式会社 関東第一薬局事業本部）

## シンポジウム 12

周産期のトータルケアを見据えた薬剤師業務

座長：西郡 秀和（福島県立医科大学 ふくしま子ども・女性医療支援センター  
発達環境医学分野）  
小原 拓（東北大学病院 薬剤部）

1. 周産期薬物療法の考え方  
西郡 秀和（福島県立医科大学 ふくしま子ども・女性医療支援センター  
発達環境医学分野）
2. 未定  
児玉慎二郎（東北大学病院 糖尿病代謝科）



3. 妊娠中の精神疾患の薬物療法  
菊地 紗耶 (東北大学病院 精神科)

4. 妊娠高血圧症候群の薬物療法  
日時 弘仁 (東北医科薬科大学医学部 衛生学・公衆衛生学教室)

### シンポジウム 13

がん薬物療法管理へのアプローチ、臨床推論で切り拓こう！

座長：湊川 紘子 (聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部)

土屋 雅美 (宮城県立がんセンター 薬剤部)

1. がん患者に起こりうる病態と症状～腫瘍内科の立場から～  
土井 綾子 (聖マリアンナ医科大学 臨床腫瘍学講座)

2. 薬剤師による副作用判断のための考え方とその学び方  
白井 浩明 (杏林大学医学部附属病院 薬剤部)

3. 服薬指導時にヒントはあった！がん薬物療法に伴う、見逃されたその症状(仮)  
伊與田 友和 (一般財団法人慈山会医学研究所附属坪井病院 薬剤部)

4. 病態把握から副作用マネジメントの幅を広げる  
二瓶 哲 (岩手医科大学附属病院 薬剤部)

### シンポジウム 14 共催シンポジウム

進化し続ける抗 HIV 療法とチーム医療について～薬剤師に期待すること

座長：阿部 憲介 (国立病院機構仙台医療センター)

栗原 健 (一般社団法人日本病院薬剤師会)

1. オリジナルと性感染症～その時なにが起こるのか～  
今村 顕史 (がん・感染症センター 都立駒込病院 感染症科)

2. 服薬マネジメント支援のコツ  
辻 麻理子 (NHO 九州医療センター 心理療法士室)

3. 長期療養時代に向けた患者支援  
渡部 恵子（北海道大学病院 HIV 診療支援センター）

## シンポジウム 15

### 小児薬物療法における薬剤師の役割

座長：石川 洋一（明治薬科大学 薬学部）  
中井 啓（宮城県立こども病院 薬剤部）

1. 小児薬物療法における薬剤師の新しい役割  
石川 洋一（明治薬科大学 薬学部）
2. 小児科医が薬剤師に期待すること  
木村 正人（宮城県立こども病院 循環器科）
3. 当院 NICU・GCU における薬剤師の関わり  
松崎美実子（東北大学病院 薬剤部）
4. 小児薬物において薬局薬剤師ができること  
野呂 文恵（有限会社あおぞら薬局）
5. 小児専門病院における薬剤師業務  
中井 啓（宮城県立こども病院 薬剤部）

## シンポジウム 16

### 精神科領域における臨床と研究～患者個々の最適な薬物療法に向けて～

座長：谷藤 弘淳（医療法人有恒会 こだまホスピタル 薬剤部）  
内山 道子（一般財団法人愛成会 弘前愛成会病院 薬剤部）

1. 薬剤経済学的評価による精神科ファーマシューティカルケアの価値を示す研究  
～費用効用分析と効率的フロンティアに基づく考察～  
村田 篤信（慧真会 協和病院 薬剤科）
2. 向精神薬の測定法の構築に向けた基礎的検討と臨床への応用  
鈴鹿 雅人（東北大学病院 薬剤部）

3. 入院中の転倒転落リスクを軽減させるための薬剤師の視点  
菊池 悠実（岩手医科大学附属病院 薬剤部）
4. 当大学における精神科に関する教育への取り組み  
三輪 高市（鈴鹿医療科学大学 薬学部）
5. 精神科臨床で役立つ症状評価ツール（DIEPSS,DAI-10等）について  
吉尾 隆（東邦大学薬学部 臨床薬学研究室）

## シンポジウム 17

### 地域連携第一部

ICTやお薬手帳、トレーシングレポート等のツールを使った連携（仮）

## シンポジウム 18

### 集中治療領域における感染症診療

座長：鈴木 義紀（宮城県立がんセンター 薬剤部）  
鈴木 博也（東北大学病院 薬剤部・感染管理室）

1. 未定  
林 淑朗（医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 集中治療科）
2. 重症感染症治療に対する集中治療薬剤師の思考（仮）  
中菌 健一（聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院 薬剤部）
3. 重症感染症患者における組織移行性を考慮した抗菌薬治療  
宗田 一記（一般財団法人 脳神経疾患研究所附属 総合南東北病院 薬剤科）

## シンポジウム 19

### NSTとして考える薬物療法と栄養療法の関わり

座長：前嶋 隆弘（東北大学病院 薬学部）  
宮田 剛（岩手県立中央病院 院長）

1. がん緩和ケアにおける QOL を高める栄養療法  
～緩和ケアにおいて薬剤師に求められること～  
児玉 佳之（医療法人社団佳生会 こだま在宅内科緩和ケアクリニック 院長）
2. リハビリテーション薬剤と栄養療法  
中村 直人（公立陶生病院 医療技術局 薬剤部）
3. 栄養療法のさらなる変革に向けて～栄養教育の過去・現在・未来～  
牧 宏樹（市立甲府病院 薬剤部）

## シンポジウム 20

変革の時代における中小病院薬剤師の展望～ジェネラリストとしての実践～

座長：遠藤 武弘（一般財団法人光ヶ丘愛世会 光ヶ丘スベルマン病院）  
片山 潤（石巻市立病院 薬剤科）

1. 透析患者の薬物療法に対する当院薬剤師の活動について  
松江 良知（医療法人三良会 村上新町病院）
2. 魅力ある中小病院の薬剤部門を構築する方策を考える  
松本 健司（医療法人啓仁会 石巻ロイヤル病院 薬剤科）
3. 処方設計支援による医師等の業務負担軽減と医療費削減への貢献  
幸坂 英明（外ヶ浜町国民健康保険外ヶ浜中央病院）
4. 未定  
樋島 学（医療法人社団和光会 総合川崎臨港病院/株式会社キャピタルメディカ）

## シンポジウム 21

薬学生シンポジウム

座長：菊地 正史（東北大学大学院 薬学研究科）  
伊藤 鍛（奥羽大学 薬学部）

1. 医薬品適正使用における JADER を用いた薬剤疫学研究の利活用  
久保 譲治（青森大学 薬学部）

2. 分子標的薬による皮膚障害のリスク因子に関する後ろ向き観察研究  
佐々木慎也（岩手医科大学薬学部 臨床薬学講座 臨床薬剤学分野）
3. プラザキサ®カプセルに対する保管湿度条件の影響  
佐藤 悠太（東北医科薬科大学薬学部 臨床薬剤学教室）
4. シトクロム P450 遺伝子多型による薬物動態個人差解析プラットフォームの構築  
公文代将希（東北大学大学院薬学研究科）
5. 抗微生物活性を有する栄養輸液の探索とその効果の検証  
阿部 咲織（奥羽大学 薬学部）
6. 高齢者や小児が使用しやすい剤形に関する研究  
新井 克磨（医療創生大学 薬学部）

## シンポジウム 22

地域連携：地域包括ケア時代における多職種連携

座長：片山 潤（石巻市立病院 薬剤部）  
未定

1. 在宅緩和ケアにおける薬剤師の可能性  
河原 正典（爽秋会 岡部医院仙台 院長）
2. 介護支援専門員の役割と多職種連携について(仮)  
小松 治（宮城県ケアマネジャー協会気仙沼支部）

## シンポジウム 23

糖尿病性腎症重症化予防のために薬剤師ができること～チームの中での薬剤師の役割～

座長：本田 弘（一般財団法人厚生会 仙台厚生病院 薬剤部）  
佐藤 伸輔（東北医科薬科大学若林病院 薬剤部）

1. 糖尿病性腎症3期（顕性腎症期）からでもここまで治療できる：  
各職種から患者と家族への情報提供に努めよう  
赤井 裕輝（東北医科薬科大学医学部内科学第二（糖尿病代謝内科））

2. 当院における糖尿病性腎症重症化予防に対する薬剤師の関わり  
平泉 達哉 (由利組合総合病院 薬剤科)
3. 糖毒性解除への手段 ～SGLT2 阻害薬の可能性を探る～  
丹代 恭太 (盛岡赤十字病院 薬剤部)
4. 糖尿病性腎症重症化予防のために薬剤師ができること～保険薬局薬剤師の立場から～  
菅原 秀樹 (調剤薬局ミッテル 開成店)

## シンポジウム 24

緩和ケアへの薬剤師の取り組み ～院内外多職種連携も含めて～

座長：熊谷 史由 (東北労災病院)  
山寺 文博 (みやぎ県南中核病院 薬剤部)

1. 一般病棟の緩和医療において薬剤師が果たすべき役割、そして多職種連携  
清川 明慶 (むつ総合病院 薬剤部薬剤科)
2. 地域で支える緩和ケア—緩和ケア領域の薬業連携—  
齋藤 智美 (山形県立河北病院)
3. 入院患者におけるレスキュー薬自己管理マニュアル作りと運用開始について  
小崎 恵美 (JA 福島厚生連 白河厚生総合病院)
4. 当院における緩和ケアチームと多職種連携  
鈴木 訓史 (国立病院機構 仙台医療センター)

## シンポジウム 25

重大事故を防ぐために必要な薬剤師の視点と対策を考える  
—最近の薬剤関連死亡事故から薬剤師としてなすべきことを学ぶ—

座長：金澤佐知子 (弘前大学医学部附属病院 薬剤部)  
佐藤 文彦 (岩手医科大学附属病院 薬剤部)

1. 「筋弛緩薬誤投与事故」事故調査から見てきたもの  
渡邊 幸子 (医療法人社団哺育会 白岡中央総合病院)

2. テモゾロミド連続投与事故から  
赤坂 和俊（東北大学病院 薬剤部）

## 医薬品相互作用研究会シンポジウム

リバーストランスレーショナルリサーチを目指して～臨床と基礎の視点から～

座長：松本洋太郎（東北大学大学院薬学研究科・薬学部）  
山口 浩明（山形大学医学部附属病院 薬剤部）

1. 腸内細菌を標的とした腎臓病治療戦略～バイオマーカーと治療薬の開発～  
松本洋太郎（東北大学大学院薬学研究科・薬学部）
2. 肺移植後患者における薬物療法個別化に向けて（仮）  
山口 浩明（山形大学医学部附属病院 薬剤部）
3. 癌治療の進歩 基礎研究から臨床へ  
沼崎 宗夫（東北大学病院 加齢・老年病科）

## 医薬品相互作用研究会ワークショップ

医薬品相互作用研究会ワークショップ―事例から学ぶ研究の進め方から出版まで―（仮）

東北の薬剤師の未来（パネルディスカッション）